



京都府立
久美浜高等学校

学校だより

第 6 号

発行 令和2年11月

住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地 電話 0772-82-0069



京都府立
丹後緑風高等学校
久美浜学舎



学校公開を実施しました！

11月8日(日)午後、中学3年生を対象にした学校公開を実施しました。新型コロナウイルス感染症予防の為、前例のない様々な配慮をしながらの実施でしたが、中学生21名と保護者の方々の参加がありました。

当日は、まず丹後緑風高校久美浜学舎1期生である在校生(1年生)の各学科代表生徒による学科紹介と、教務部による入試説明を行いました。中学生はその後、「アグリサイエンス科コース」、「みらいクリエイト科コース」、「まるごと久美浜学舎コース」に分かれて、それぞれ特色ある在校生の授業参観をしました。続いて、在校生代表のパネルトーク、小グループでの交流により、実際の学校生活の様子について理解を深めてもらいました。最後に部活動体験・見学・見学ツアーも行いました。参加した中学生のみなさん、保護者の皆様、御来校ありがとうございました。来年4月の再会を楽しみにお待ちしております。

11月4日(水)~13日(金)には、図書館や教育機関関係の皆様等を対象に学校図書館も公開しました。地域の小学校や図書館等で子どもの読書活動支援に携わっていらっしゃる方々や、図書館用品の開発を手がける企業などから訪問があり、様々な取組の参考にしていただくことができました。



参加した中学生の感想

- ・ 生徒交流会で先輩方と話せて、楽しかった。
- ・ 明るく、楽しそうな雰囲気がある学校だということがわかった。
- ・ 受検をする前に校内や授業風景を見学できとても良かった。久美浜学舎を受検する意志がかたまった。
- ・ 体験セミナーの時より、より深く学校の様子がわかり、もっと興味がもてた。

生徒会 始動！

10月、生徒会選挙によって、2年生を中心とした新・生徒会執行部が発足しました。明るく健全で主体的な高校生活を、久美浜高校の生徒みんなでも実現するべく、これから1年間、がんばっていきます。



会長 鎌田 連太郎(久美浜中学校出身) 副会長 安達 雄馬(久美浜中学校出身)
議長 中野 麗那(久美浜中学校出身) 副議長 多賀野 鈴(峰山中学校出身)
書記 榮元 麻伎(久美浜中学校出身) ・ 田中 修羽(久美浜中学校出身)
会計 瀬尾 陸冬(久美浜中学校出身) ・ 多賀野 恵里(峰山中学校出身)

1年生 科目「ライフスキル」 丹後の熱い社会人との交流会「丹後緑風みらい Lab」開催

11月11日(水)、久美浜公会堂にて、「丹後緑風みらい Lab」を開催しました。

丹後の魅力にひかれてUターンやIターンして、丹後で活躍されている7人の社会人をお招きして、今夢中になっていることや、これからの大きな夢の実現のための計画について、熱く語っていただきました。小グループに分かれて、じっくり話を聞いた生徒たちは、大人の生き方はいろいろあることや、人とつながることが大切であることを感じ取っていました。

ファシリテーターとして、主に京都市内で活躍されているグローバル人材開発センターの外崎佑実さんにお越しいただき、会の進行とグラフィックレコーディングをお世話になりました。最後に、生徒一人一人がこれからやってみたいことを用紙に書いて貼り出し、その中から共感の多かったものについて、どうすれば実現できるのかをみんなで一緒に考え、アイデアを出し合いました。終わりの時間が近づいてきても、どこのグループも終わる気配がなく、いつまでも活発な意見交換が行われていました。

ここで生まれたアイデアや、新しい人とのつながりを大切にしながら、これからも共に学び続けたいと思います。



1年生「みらい探究 I」で ビブリオバトルに挑戦!

8月末、みらいクリエイト科「みらい探究 I」では、限られた時間で本を選び、読み解き、他人が読みたくなるような紹介をする「即興ビブリオバトル」に挑戦しました。

ビブリオバトルは、好きな本について数人がプレゼンテーションをし、聴衆が一番読みたくなった本に投票する知的書評合戦です。生徒は全員初めての体験でしたが、事前に YouTube で公開されている全国高等学校ビブリオバトル大会の都道府県代表プレゼンを視聴してイメージをつかみ、2時間の授業のなかで本を選び、プレゼン構成を考え、発表するという即興での課題にもかかわらず、見事なプレゼンを披露しました。好きな本について、自分の言葉で人に薦める、笑顔が弾ける素晴らしい授業となりました。



2年生「総合的な探究の時間」 マイプロジェクトアワード2020 出場に向けて

2年生の「総合的な探究の時間」では、1学期からグループや個人に分かれて、興味のある分野で探究活動に取り組んできました。11月11日(水)には、学年の中で選出された代表の6チームが、体育館にてこれまでの成果を発表しました。最後の校長先生からの講評では、問いを立てて考えていくプロセスの大切さをお話いただきました。生徒たちにとって、今後の探究活動へのモチベーションを得る機会になったと思います。

この発表会で最優秀の評価を受けた1チームは、来年2月に行われる「全国高校生マイプロジェクトアワード2020」関西サミットに出場します。大舞台での発表に向けて、さらなる研鑽が期待されます。

